

本庄早稲田の杜ミュージアム

//// //// 縄文の謎に迫る！ //// ////

本庄早稲田の杜ミュージアムでは、縄文時代をテーマとする展示を3月27日(日)まで開催しています。高さ70cmを超える大きなものから約20cmの小さなものまで、たくさんの縄文土器を展示しています。

縄文土器を観察してみよう！

みなさんは、縄文土器の表面をじっくり観察したことがありますか？観察するといろいろな図柄ずがらがつけられています。その図柄のことを文様もんようといいます。

この文様はどうやってつけたのかな？

縄文土器の文様はいろいろな方法でつけられたことが、これまでの研究で分かっています。



その方法の一つが縄を利用したものです。植物のクキや皮を使い、編んで縄にし、土器の表面に転がしてつけていました。



▲ 児玉町共栄の新宮遺跡しんぐうから出土した高さ70cmを超える巨大な縄文土器



土器には、それぞれ作られた場所や時期などによって、いろいろな文様があります。本庄早稲田の杜ミュージアムでは、たくさんの土器を展示していますので、本物をじっくり観察してみてください。

本庄早稲田の杜地域連携展覧会 旧石器・縄文時代の児玉・深谷地域

展覧会では、主に発掘調査によって出土した資料を出品し、児玉・深谷地域における旧石器・縄文時代の人々の生活と文化を紹介しています。

会期 3月27日(日)まで
時間 午前9時～午後4時30分
※月曜日休館（休日の場合は翌日）
会場 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター2階情報資料室（ミュージアム2階）
入館料 無料
電話 71-6878



ミニ企画展 本庄市の遺跡 令和3年度最新出土品展

注意：会場はミュージアムではありません。

本庄市には、文化財が地中に埋まっている場所が500箇所以上あり、毎年発掘調査を行っています。最新出土品展では、市内で実施された発掘調査の成果をいち早く公開しています。

児玉町金屋にある高柳原遺跡D地点から見つかったタテ16mm厚さ5mmのまが玉



会期 3月25日(金)まで
時間 午前9時～午後4時30分
休室日 土曜日・日曜日・3月21日(祝)
会場 文化財整理室 文化財展示コーナー
児玉総合支所第2庁舎2階
(児玉町児玉385)
入室料 無料
電話 72-6841

めずらしいまが玉も発見！